

2024.10月速報 業況DIは物価高による消費低迷が続き再び悪化。先行きは長引く経営課題多く、力強さを欠く

全産業合計の業況DIは、▲17.2（前月比▲3.1ポイント）。小売業は消費者の買い控えが重く押し下げ、サービス業は宿泊業が堅調な一方で生活関連サービス等が下押し、卸売業は小売業・サービス業からの引き合い減少に加え、農水畜産物関係の天候不順による価格高騰の煽りを受け、建設業は資材価格の高騰や住宅関連の受注不振で、それぞれ悪化しました。製造業は自動車関係がけん引し改善しましたが、小幅に留まっています。原材料・電気代の高騰、最低賃金の引上げに伴うコスト増に加え、深刻な人手不足を解消すべくさらに賃上げ等を行っていますが、価格転嫁が十分に追いつかず、中小企業の業況は再び悪化に転じました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ➡改善 ➡ほぼ横ばい ➡悪化



資材価格の高騰や、住宅関連を中心に民間工事の受注不振が継続する中、技術者の深刻な人手不足による受注損失も発生し、悪化。工期の長い案件では、度重なる仕入価格の上昇に価格転嫁が追いつかないとの声が聞かれた。

- ・「短期間の民間工事では、都度見積もりを出して価格交渉を行っており、取引先からも受け入れられている。一方で、工期の長い工事では、見積もり時から二度・三度と資材価格が上がるため、利益率が悪く、経営に影響が出ている」（一般工事業）
- ・「案件があっても、深刻な技術者不足で受注体制ができておらず、断らざるを得ない状況が発生している」（建築工事業）



円安基調による輸入部材やエネルギー価格の高止まりに加え、消費者の購買意欲の低下で日用品や飲食品を中心に需要が減少しているものの、堅調な自動車関係や電子機器関係が下支えし、改善。

- ・「受注が増加する中、日本人材の採用は依然として厳しく、外国材の雇用により補完している。一方で、労働時間の上限規制等で思うように生産量を増やせないため、設備投資にも取り組んでいく必要を感じている」（鉄鋼業）
- ・「受注が増加傾向にあり、人材採用・育成ができれば増収増益を見込めるが、現状では人手不足で断る案件も発生している」（産業用電気機械器具製造業）



消費者の購買意欲の低下に伴う日用品や飲食品関係の引き合い減少に加え、包装資材価格の高騰や輸送費の上昇等によるコスト増で、悪化。農畜産水産物関係では、天候不順による価格高騰で収益悪化を訴える声が聞かれた。

- ・「異常気象により、秋冬野菜の供給量が安定せず、価格が高騰している。取引価格が高騰すると、需要が減少するため、収益の悪化につながっている」（農畜産水産物卸売業）
- ・「個人消費が冷えこんでおり、売上が伸び悩んでいる。消費喚起につながる政策を期待したい」（日用品・生活関連商品卸売業）



百貨店ではインバウンド需要や高価格帯の商品の売上が好調なものの、消費者の購買意欲の低下や電気代の高騰、最低賃金の引き上げ等に伴うコスト増が全体を下押しし、悪化。

- ・「高価格帯の商品の需要は堅調なもの、物価上昇の継続で全体として消費者の購買意欲が低く、売上が伸び悩んでいる。また、今月から最低賃金が引き上げられたことで、労務費が増加しており、採算も悪化している」（百貨店）
- ・「売上が伸び悩む中、購入者の半数がキャッシュレス決済を利用しており、手数料負担が大きく、収益を圧迫している」（スポーツ用品小売業）



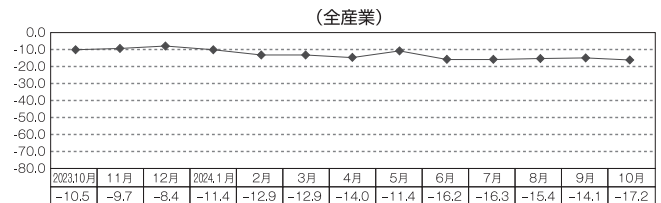
秋の行楽シーズンの恩恵で宿泊業は堅調に推移したものの、物価高に伴う消費者の節約志向により、飲食店や生活関連サービスを中心に、悪化。最低賃金の引き上げに伴い、すでに就労調整が出始めているとの声が聞かれた。

- ・「最低賃金の引き上げに伴い、パート従業員の給与改定を行ったことにより、就労調整が例年よりも早く出始めている。もともと人手不足で需要の取りこぼしが発生している中、年末にかけて一層の損失を懸念している」（飲食店）
- ・「労働時間の上限規制に伴い、より多くの人材を確保する必要があるが、募集をかけても全く応募がない状態が続いている」（運送業）

業況DIの推移

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	見通し 11~1月
全産業	▲11.4	▲16.2	▲16.3	▲15.4	▲14.1	▲17.2	▲15.1
建設業	▲16.5	▲18.7	▲13.1	▲11.6	▲8.4	▲11.8	▲10.3
製造業	▲13.6	▲17.6	▲22.8	▲24.4	▲23.4	▲22.0	▲17.5
卸売業	▲14.8	▲23.3	▲24.0	▲19.9	▲16.1	▲26.1	▲18.9
小売業	▲16.6	▲22.2	▲20.8	▲18.4	▲18.7	▲24.1	▲20.9
サービス業	▲0.8	▲8.0	▲5.4	▲5.2	▲4.3	▲6.9	▲9.9

※見通しは、当月に比べて向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2024年10月16日～22日

全国325商工会議所が2,488企業にヒアリング

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がり意味する。

県内企業倒産発生状況

前年同月に比べ件数・負債総額共に増加

〈令和6年10月概況と見通し〉

国内・県内ともに、景気は一部に足踏みや弱さがみられるものの緩やかに持ち直していると見られます。県内の倒産件数も7カ月連続で一桁台で推移する等、一時の増勢が鈍化しています。ただし、与党が過半数割れした事による政治の混迷や、アメリカ大統領選挙の結果、ウクライナや中東をめぐる情勢など、先行きの不透明感が否めない状況下で、更なる

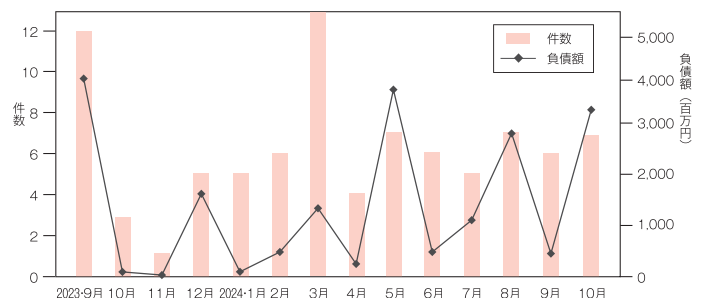
原価上昇や最低賃金引上げ、金利の上昇等が企業収益を押し下げるリスクとなり、「息切れ倒産」が増加する事が危惧されます。

山形県 月別倒産件数 負債額

	東 南 置 賜		山 形 県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和6年10月	0	百万円 0	7	百万円 3,341
前月比(%)	0.0	0.0	116.7	732.7
前年同月比(%)	—	—	233.3	3,840.2

東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ



県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和6年9月	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
食料	119.6	1.7	4.6
住居	107.2	0.1	1.3
光熱・水道	111.4	▲5.6	4.1
家具・家事用品	123.4	1.2	5.9
被服及び履物	113.7	1.7	3.2
保健医療	104.5	▲0.1	1.1
交通・通信	97.5	▲0.1	0.6
教育	100.0	0.0	0.0
教養娯楽	114.3	▲1.5	5.2
諸雑費	105.0	0.2	1.3
総合	110.1	▲0.1	2.9

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和6年9月 (単位：百万円、%)

品目	全 国		山 形 県	
	百貨店＋スーパー		百貨店＋スーパー	
	販売額	前年同月比 全店舗	販売額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	32,014	▲0.9	121	13.8
婦人・子供服・洋品	118,656	▲0.1	116	1.4
その他の衣料品	10,304	▲3.0	21	▲5.6
身の回り品	91,682	1.0	26	13.5
飲食物品	1,151,113	1.9	10,308	1.1
家具	6,755	7.5	63	3.1
家庭用電気機械器具	12,732	5.9	41	0.5
家庭用品	34,856	4.7	259	0.4
その他の商品	272,538	3.8	664	▲0.2
食堂・喫茶	11,830	▲2.0	33	▲0.8
合計	1,742,480	2.0	11,652	1.2

経済産業省 東北経済産業局調べ

(注：販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市の人口と世帯数

令和6年10月1日現在

人口 76,961人 (78,318人)

世帯数 33,616世帯 (33,708世帯) 一世帯当たり 2.29人 (2.32人)

() 内前年同月データ

資料：米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.18ポイント下回った

米沢市

新規学卒除きパートタイム含む

		求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和6年9月	有効	2,713	2,195	1.24	176
	新規	924	453	2.04	－
前月比(%)	有効	100.6	100.6	105.1	104.8
	新規	85.7	85.7	99.5	－
前年同月比(%)	有効	67.3	67.3	87.3	98.9
	新規	65.2	65.2	96.7	－

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別 (山形県)

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	33	36	0.92
専門・技術	3,734	1,690	2.21
事務	1,950	3,921	0.50
販売	2,584	989	2.61
サービス	4,073	1,714	2.38
保安	639	98	6.52
農林漁業	226	231	0.98
生産工程	3,382	2,319	1.46
輸送・機械運転	1,083	511	2.12
建設・採掘	1,592	267	5.96
運搬・清掃	1,826	2,974	0.61
その他	0	1,206	－

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)

資料：山形労働局職業安定課

米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 件数・床面積とも前年を上回った

令和6年10月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
	総 数	0	14	14	0	1,376	1,376
	新 築	0	10	10	0	1,201	1,201
	増 築	0	4	4	0	175	175
前月比(%)	総 数	－	140.0	140.0	－	150.2	150.2
前年同月比(%)	総 数	－	350.0	350.0	－	297.2	297.2

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物 (木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など)
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物 (2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など)

